

2022年4月5日
商工中金

地域金融機関と協調し、物流拠点を新設する株式会社大和通商様に対して 総額 14 億 5,000 万円のシンジケートローンを組成

商工中金は、地域経済への影響力を有する中小企業の皆さまが取り組む、産業構造の変革への挑戦を、関係機関と連携を取りながら、積極的にサポートしています。

商工中金（名古屋支店）は、株式会社大和通商様（本社：愛知県小牧市、代表者：渡邊 幸男様）に対し、2件総額 14 億 5,000 万円のシンジケートローンを組成しました。本シンジケートローンは、商工中金がアレンジャーを務め、名古屋銀行、山陰合同銀行、中国銀行、足利銀行、筑波銀行との協調により、その組成が実現したものです。

同社は、食品から建築資材、工業製品の運搬まで、幅広い貨物を配送する総合物流業者です。全国 9 拠点で 270 台を超える車両を保有し、近年では「中継輸送」を可能とするスワップボディコンテナ車輛や倉庫管理システムの導入等により業務効率化にも取り組んでいます。

今回、同社は、調達した資金を活用し、中国物流センター（岡山県備前市）及び北関東物流センター（栃木県鹿沼市）の建設を計画。全国への配送網の強化に拠る安定的なトラック輸送の供給に取り組むとともに、2024 年 4 月より適用される働き方改革関連法の遵守するために設備を整備し、ドライバーの働き方改革に取り組みます。

商工中金は、現地訪問や経営者とのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を行い、同社の強みと財務上の課題を共有。同社の企業価値向上のためには、物流拠点の新設が不可欠であると判断し、地域金融機関と協調して本融資契約を締結しました。なお、本件は、拠点新設地の新たな地域金融機関を招聘する等同社の金融取引体制強化をサポートしています。

商工中金は、こうしたシンジケートローンへの取り組み等を通じて、地域金融機関と連携し、中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に貢献していきます。

【本シンジケートローンの概要】

組成金額	14 億 5,000 万円（コミット型タームローン） 中国物流センター 7 億円、北関東物流センター 7 億 5,000 万円
アレンジャー兼エージェント	商工中金
参加金融機関	中国物流センター：名古屋銀行、山陰合同銀行、中国銀行 北関東物流センター：足利銀行、筑波銀行
契約締結日	2022 年 2 月 28 日

【株式会社大和通商様の概要】

所在地	愛知県小牧市大字南外山 117 番地	資本金	1,000 万円
代表者	渡邊 幸男様	従業員数	269 名(2021 年 4 月現在)
業種	一般貨物自動車運送事業	設立	1987 年 5 月